

賞書

今回ノ爭議ハ左記ノ條件ニヨリ圓滿解決ス依テ茲ニ各自一區宛
賞書ヲ作成シ所持スルモノトス
一 請員並ニ加給制度ヲ撤廃ス

(1) 従業員ノ請員者ニ對シテハ最低五分ヨリ最高四割八分迄ノ
加給歩合ヲ支給ニ限リ入ル事

(2) 従来ノ常備者ニ對シテハ現月給ノ最低五分ヨリ最高三割五
分迄ヲ支給ニ限入ル事

如ノ率ハ大綱ヲ示スモノニシテ各個人ニ付キ日給ヲ制定スル
モノトス

但シ日給ニ月五十銭以上ノ者ハ指給セズ又他日請員制度ヲ復
設ハルコトアルヘシ其ノ際ハ新日給ヲ変更セズ

且職手當ハ内規ヲ以テ制定スルニ公表セズ

本項ハ出来得ル大ケ御希望ヲ示シ積リナレトモ會社経営状態

一 都合上早給ニテレコトアルヘシ
二 職中ノ日給ハ旧日給ノ百分ノ一ヲ支給ス

三 公認問題並ニ団体交渉権ハ目下ノ処認ノ難シ但シ組合加入ハ
本人ノ自由意思ニ依ルコト

六 今回ノ爭議ニ對シテハ犠牲者ヲ出サハル事
昭和六年三月十八日

荏原郡羽田町藪谷一六二ニ
大業工具株式会社

取締役 上島千桑
従業員代表

日本労働總同盟

近藤武男
南部松藏
藤田村治

尚會社側ハ従業員側ニ對シテ和約ニ交渉セルヲ以テ解決条件以外